

別紙2

三重県 中央会情報連絡員報告総括表 ( 令和8年2月 )

情報連絡員数	40 名	回答者数	40 名	回答率	100.0 %
--------	------	------	------	-----	---------

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況					
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
製 造 業	食 料 品	0	4	0	0	4	0	2	2	0	0	3	1	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0			
	織 維 工 業	1	2	0	0	2	1	3	0	0	0	2	1	0	2	1	0	2	1	1	1	1	0	2	1	0	2	1			
	木 材・木 製 品	0	1	1	1	0	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1			
	紙・紙加工品	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1			
	印 刷	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0			
	化 学・ゴ ム																														
	窯業・土石製品	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0			
	鉄 鋼・金 属	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0			
	一 般 機 器	0	3	0	2	1	0	2	1	0	0	3	0	0	2	1	0	1	2	0	2	1	0	2	1	0	2	1			
	電 気 機 器	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1			
	輸 送 機 器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0			
そ の 他																															
	<b>小 計</b>	<b>3</b>	<b>14</b>	<b>3</b>	<b>5</b>	<b>13</b>	<b>2</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>16</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>12</b>	<b>6</b>	<b>0</b>	<b>16</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>13</b>	<b>5</b>	<b>0</b>	<b>16</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>15</b>	<b>5</b>			
非 製 造 業	卸 売 業	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	X			0	2	0	0	2	0			
	小 売 業	1	2	3	0	6	0	2	4	0	0	5	1	0	4	2	0	4	2				0	6	0	0	4	2			
	商 店 街	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0			
	サ ー ビ ス 業	1	3	0	X			1	3	0	0	4	0	1	3	0	0	3	1				1	3	0	1	3	0	0	4	0
	建 設 業	1	3	0				1	3	0	1	2	1	1	2	1	1	3	0				0	3	0	0	3	1	1	2	1
	運 輸 業	0	1	0				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0	0	1	0
	そ の 他	1	1	0				1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0				0	2	0	0	2	0	0	2	0
<b>小 計</b>	<b>4</b>	<b>13</b>	<b>3</b>	<b>0</b>				<b>9</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>12</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>17</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>14</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>16</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>18</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>16</b>	<b>3</b>				
<b>合 計</b>	<b>7</b>	<b>27</b>	<b>6</b>	<b>5</b>	<b>22</b>	<b>2</b>	<b>18</b>	<b>22</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>33</b>	<b>6</b>	<b>5</b>	<b>26</b>	<b>9</b>	<b>1</b>	<b>32</b>	<b>7</b>	<b>2</b>	<b>13</b>	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>34</b>	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>31</b>	<b>8</b>				

## 最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和7年2月～令和8年2月)

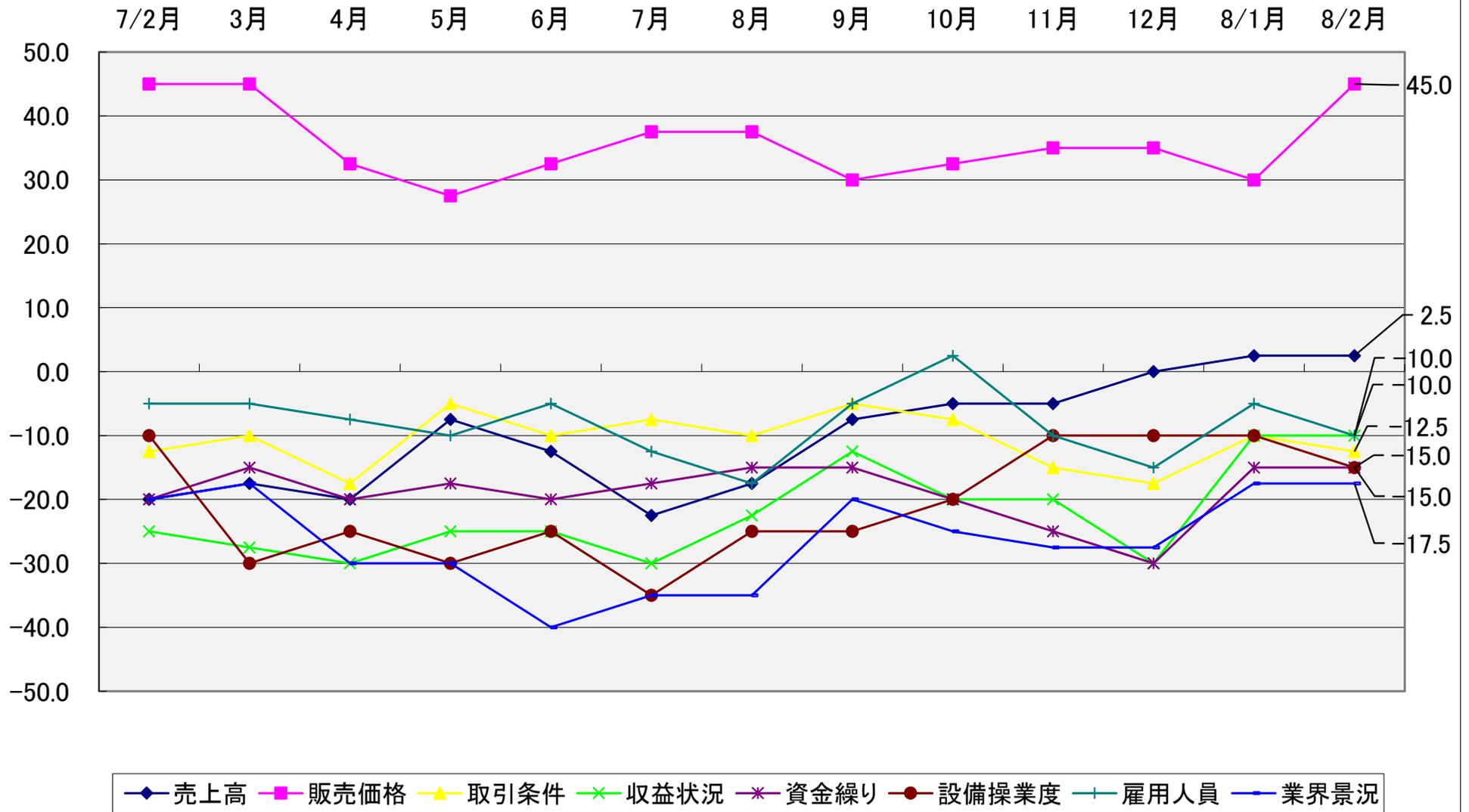
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	7/2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	8/1月	8/2月	増減
売上高	-20.0	-17.5	-20.0	-7.5	-12.5	-22.5	-17.5	-7.5	-5.0	-5.0	0.0	2.5	2.5	0.0
販売価格	45.0	45.0	32.5	27.5	32.5	37.5	37.5	30.0	32.5	35.0	35.0	30.0	45.0	15.0
取引条件	-12.5	-10.0	-17.5	-5.0	-10.0	-7.5	-10.0	-5.0	-7.5	-15.0	-17.5	-10.0	-12.5	-2.5
収益状況	-25.0	-27.5	-30.0	-25.0	-25.0	-30.0	-22.5	-12.5	-20.0	-20.0	-30.0	-10.0	-10.0	0.0
資金繰り	-20.0	-15.0	-20.0	-17.5	-20.0	-17.5	-15.0	-15.0	-20.0	-25.0	-30.0	-15.0	-15.0	0.0
設備操業度	-10.0	-30.0	-25.0	-30.0	-25.0	-35.0	-25.0	-25.0	-20.0	-10.0	-10.0	-10.0	-15.0	-5.0
雇用人員	-5.0	-5.0	-7.5	-10.0	-5.0	-12.5	-17.5	-5.0	2.5	-10.0	-15.0	-5.0	-10.0	-5.0
業界景況	-20.0	-17.5	-30.0	-30.0	-40.0	-35.0	-35.0	-20.0	-25.0	-27.5	-27.5	-17.5	-17.5	0.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする  
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いている。また、ウクライナ戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、特に電気代の値上がりりが経営を圧迫する状態が続いている。昨年からの米の価格高騰の影響により、米の消費が減少しており、それにつれて漬物の消費も伸び悩んでいる。現在、ホームページの更新のため、中央会の指導をいただき、更新作業を進めている。また、新年度の通常総会を5月13日に津市において開催を予定している。さらに中央会の事業を活用し、5月20日に鈴鹿市でA1活用に関する研修会を開催の予定である。	
	醤油味噌	2月18日から20日に千葉幕張メッセで開催された展示会に組合員8社と参加した。三重県産しょうゆを国内外バイヤーに売り込むための展示会で国(農水省)の輸出補助金を活用した。中国の日本渡航の禁止や春節と重なり、中国関係のバイヤーは少なく感じた。しょうゆは国の農林水産物輸出品目に認定されており、業界も積極的に国内外の展示会に出展しており、その効果もあり、毎年輸出額は2桁%伸びている。当組合の組合員も輸出事業に取り組む企業が増えてきた。	
	他に分類されない食料品 製造業	ガソリン減税で喜んでしたが、また中東での戦争が起こればどうなるかが心配だ。名張では後回しにされてきた中学校給食も令和11年度からと発表された。給食もセンター方式に持っていくとのこと。生徒数が減る中、なかなか学校給食だけで利益を出すことができるか不安である。大手のパン会社では学年ごとに重量を変える細かい需要には応えられないと聞いている。すべて冷凍にして、各々の工場で焼いて届けるようになるかもしれない。	
	製麺	今月は会合ができず、3月3日に予定している。今年は伊勢うどんの品評会を11日頃に開催して盛り上げていきたい。また、東海農政局から提案を受けたGI表示についての勉強会を取り入れていくかを検討している。業界を取り巻く環境も、原材料を始め資材関係も値上げが相次いでいる。今後の価格の値上げが考えられるが、現況を考えて取り組む必要がある。今後は、現状を把握していきたい。	
繊維工業	衣料縫製	同業者も高齢の為、廃業が多くなった。国内生産も一部では重視されているが、発注数は多くない。大ロットは海外、少ロットは国内と分かれている。	
木材・木製品	木材	円安、建設コスト、輸送コスト等の高騰もあり、木造住宅需要が上向き気配は見られず、国産材製品の荷動きも依然として低調でコストに見合った価格転嫁が進んでいない。	
	木材チップ	原材料価格が高止まりしているため原料確保が課題であり、従業員の確保が困難である。機械や消耗品等、修理費の価格が高い。	
製 造 業	紙・紙加工品	古紙	2月の仕入れ量は段ボール・約92±2%、新聞、チラシ・約93±3%、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約92±5%だった。板紙は原紙の値上げを年明けからお願いしていたところ一部の事業者のみの実施となった。紙の方は製品の軽量化薄物化と消費激減で紙板紙合わせて前年比マイナス成長となった。三重県の組合員は1社を除き県内組合員の古紙集荷量は前年比大幅ダウンの厳しい経営状態が続いており、これからも同じ状況と思われる。春闘で今年の賃金上昇がどの程度となるのか、最低賃金もUPで利益率上昇が必須条件で経営者側には大きな負担となっている。株高騰、ドル円為替レート乱高下でも、品質の良い雑誌古紙輸出価格は国内古紙相場より高いものの国際相場から見るとお値打ちなのではないかと思っている。古紙や古着・金属の持ち去りやゴミ等の置き去り行為もなくなり、名古屋市は来季から刑事罰になる見込みで、持ち去り古紙の法律制定も登録制の運用となるようだが回収業者の売り買いや下請店や代納業者は抜け穴になる原案のように感じる。古紙業界は明瞭で姿勢が正せる方向へ向かって行き将来はより良い業界になることを願っている。
	印刷	印刷	2月期においては、官公需、特に県発注物が大きく減少しているよう感じる。また、今に始まったことではないが、県入札制度では、随意契約方式・最低価格をもって落札者としているが、最低価格と最高価格で2倍もしくはそれ以上の差が往々にみられる。県に対する要望のなかに、不毛な価格競争を食い止めるためにも、最低制限価格50万円(現在)を30万円に引き下げることを要望しており、早期実現を求める。
	窯業・土石製品	伊賀焼	物価高騰に加え、イランとアメリカとの紛争による原油高騰が懸念されている。これから、ガソリンやガスなどが高騰すると、産地としても非常に大きな問題となってくる。これからの日本経済にとって不安が増す事で景気にあたる影響は大きいと思われる。
鉄鋼・金属	鍍金	業界の生産額は、引き続き堅調な状況である。中心は自動車車載部品関係で、特にEV関連の受注が好調である。ただ期末にかけては在庫調整が入る可能性もある。	

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
一般機器	四日市市	物価高騰と人材不足は相変わらずの状況である。輸送機器関連は良くないが、半導体関連の仕事が増えていると聞いている。世界情勢の混乱が悪い影響につながらないように願うばかりである。
	津市	一部の得意先で追加の受注があったため、売上は昨年と同じくらいになったが、全体的には低調であり、全従業員の2/3は、2月の残業はゼロであった。特に金型部門は一年を通して悪い。ただし今月になって少し見積依頼が出てきたので、受注獲得に期待したいが、米国とイランの問題で、原油や材料がさらに高騰すると、今よりさらに受注が減り厳しくなりそうだ。
	伊勢市	景況感は先月に引き続き良くなっていると感じる。少しずつ注文は増えているし売上も少しずつ増えている。人件費のアップはなかなか認めて貰えずに困っている。工作機械の関連も自動車部品関連も先の見通しはつきにくい面はあるも、良くなっている。政府の経済対策に期待している。
電気機器	鳥羽市	期末として繁忙期であるはずなのに2026年1月～2月は今までにない受発注の少なさに驚いている。前期比で35%ダウンであり大変な状況である。
輸送機器	伊勢市	受注は自動車部品は昨年比で増加、一般機械器具は減少。採算面では、新規受注等での寄与はあるが、既存品では利益率が悪化している。資金繰り面では、取適法の施行により、支払サイトの短縮を余儀なくされ、その結果、資金負担が増加し、改善には数年かかることとなるのは明白である。また、金利負担の増加につながり、収益圧迫も確実。本年も昨年に続き、春闘の賃上げ目標の上昇等、収益環境は厳しい状況が続くものと考える。
小売業	青果	(野菜前半) 雨不足で少なめとなっている物もある。北海道、静岡産タマネギと愛知産、茨城産のキャベツも小玉傾向な物が多い。しかしブロッコリーは生育が良く、愛知など各産地からの出荷が多く安くなっている。キュウリも生育が順調で、レタスも気温が上がり入荷が増える見込みである。(野菜後半) 気温が上がって生育が進み順調に入荷している。静岡産新玉葱は生のままシンプルなサラダにして味わえる。他にもナバナ、キヌサヤなど春野菜を食卓へ、また恵みの雨により、キャベツ、白菜、ブロッコリー、レタスがお買得になった。岐阜県産トマト、熊本、愛知産ミニトマトも価格は落ちている。鹿児島産ジャガイモは大玉が多く来週以降ピークを迎える。(果物前半) 県内産イチゴが順調である。気温が上り出荷量が増え甘味、ほどよい酸味が今が食べ頃で価格も安くなってきた。柑橘類は愛媛産イヨカンがお買得になった。また新しい品種の柑橘類を多く食べ比べてほしい。(果物後半) イチゴは県内産を中心に値段も品質も良く手頃な価格が続いている、熊本・佐賀産のデコポンも順調に入荷している。愛媛産イヨカンは最盛期が過ぎたが糖度が高くジューシーさが人気の「せとか」の入荷も増えてきた。
	自転車	2026年春闘が27日始まった。インフレが定着する中、4年連続となる高水準の賃金引き上げは物価変動を考慮したものと思われる。我々小規模事業者との差は開くばかりである。そうした中、少し朗報として、昨年パナソニックより発売された特定小型電動機付自転車(MU)に続き、ヤマハ発動機の新製品電動アシスト自転車(PASクレイグアリー)が3月に発売することとなった。20インチと比較的小さいサイズながら、都会的なスタイルが特徴でミニベロを意識して開発された。電動アシスト自転車のみに関しては国内出荷台数は少しずつ伸びており、これまで自転車に興味を示さず乗っていなかったような若い人達にも楽しんでもらいたいと、希望小売価格は13万8千円となっている。
	電器	おおよそ年間を通じて売上が減少する月だが、給湯や暖房機器も例年より動きが少なかったように思う。家電製品全般に売れ行きが少ないのか、今までの地域店と大型店の展開ではなく通信販売やテレビショッピングへ流れているのかもしれない。更に大手メーカー以外の参入も関連しているのかもしれない。
	石油	県内SS経営者の話によると、1月下旬と2月上旬に厳しい寒波が襲来したにもかかわらず、今期の灯油販売量は振るわないと言う。北勢地域では積雪もあり、欠々に伊賀でも積雪があった。旧暫定税率部分の廃止に向けて大きく下落したガソリン・軽油と異なり、灯油は1Lあたり5円の補助金のみで価格が高止まりしていることから、省エネ性能に優れた最新式のエアコンの買い替え増加につながったとの見方もある。また、高齢者の中にはポリ缶から石油ストーブのオイルタンクに灯油を入れても重くて持てない人がいる。新築住宅や住宅リフォームの際に省エネタイプのエアコンを取り付けるのが通常となり、灯油需要は少しずつ減少している。

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
商店街	熊野市	毎月開催されている朝市イベントに対し、一部の出店されている組合員や一般の若手出店者からも今後イベントを活性化させるため協力をしたいという申し出があり、次年度に向け運営委員会を立ち上げるようになった。現状の運営自体がマンネリ化していることを危惧し検討されていた直後のことでもあったので今回の出店者からの申し出は組合としてもとても有難い事でもある。今後の展開を期待したい。
サービス業	旅館	2月はオフ期であって、大きく業績を伸ばすことは期待していなかったが、天候にも恵まれ、3連休もあったことからコロナ禍前には及ばないものの、安定した集客ができていた。今後は稼働率も上げて宿泊料金も上げることが経営課題である。対前年同月比120%、19年同月比では80%程度のものであった。
	警備	毎年のことながら官公需の受注で大変忙しい時期であるが、来月からの発注減が心配される場所である。
建設業	総合工事業	2026年1月の公共工事の県内企業の受注状況は、前年度同月と比べてほぼ同額となった。内訳でみると、構成割合の高い県発注分が減少しているが国や市町で増加しトータルほぼ同額となっている。4月から1月までのトータルでは県内企業の受注は全体で15%増となっている。
	内装工事業	2月も対前年同月比で少しプラスとなった。年度末もありこの流れが続くと思われるが、前年の3月はかなり売上があったのでどうなるか微妙である。
	電気工事	我々電気工事業界においても、徐々に女性が活躍する業界になりつつある。現在、全国で1都1府16県で女性部が設立されており、当県も昨年中央会様のご指導を受けながら設立の準備を進めてきたが、2月10日に入会者24名で設立総会を開催し女性部会が動き出した。
	水道工事業（亀山市）	亀山市からの漏水等の委託については、漏水件数は減少しているが、各社対応をしている。ただ、まだまだ資材価格の上昇が続いている中、衛生器具等の材料の入荷、納品が入りにくくなってきている。今後の動向に注意が必要となっている。

## 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	他に分類されない食料品製造業	いろいろ新しい情報や変更事項などあれば教えてほしい。
食料品	製麺	上記の内容を踏まえて協議を進めていきたい。今後ともよろしくお願いします。
紙・紙加工品	古紙	3月3日に当組合と中部製紙原料商工組合三重県支部会の合同会議を松阪で開催し三重県団体中央会の会費値上げの上げを1年間の賦課金は据え置きのままの条件で満場一致でご承認いただきました。
一般機器	四日市市	賃上げ、社会保険料の増加などなかなか収益の改善が難しい状況は続いているが、昨年に比べ仕事量は増えてきていると感じる、業界全体が厳しい中、販売価格を上げていく努力が必要と感じる。中小企業の今後の経営環境が改善されるよう支援をよろしくお願いいたします。
サービス業	旅館	「大阪万博」の経済効果が29億円との発表があったが、マイナスの要素も入れているのが疑問である。マイナスのあった業界にはそれなりの支援や助成、需要喚起策を考えてもらいたい。
建設業	総合工事業	資材価格の上昇傾向は続き、人材確保が困難な状況は変わっておらず、収益の減少傾向は続いている。また、人手不足が最も経営上の課題であり、加えて従業員の高齢化も課題となっている。この傾向は変わらない状況である。